

株式会社SBI証券

決算説明資料

～ 2020年3月期 第3四半期 ～

2020年1月31日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

<決算概況>

2020年3月期 第3四半期累計業績

2020年3月期 第3四半期累計連結業績は、2市場合計の個人株式委託売買代金が前年同期比16.4%減少と市場環境が低迷した中、ホールセール部門などを含むトレーディング損益が増加し、結果として営業収益は前年同期比6.3%減に留まる。

(単位:百万円、%)

	2019年3月期 第3四半期累計 連結 (2018年4~12月)	2020年3月期 第3四半期累計 連結 (2019年4~12月)	前年同期比 増減率
営業収益	93,658	87,759	▲ 6.3
純営業収益	87,842	79,032	▲ 10.0
営業利益	42,846	27,515	▲ 35.8
経常利益	42,845	27,837	▲ 35.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	29,344	17,910	▲ 39.0

＜決算概況＞

主要インターネット証券の2020年3月期 第3四半期累計業績比較

(単位:百万円、%)

会社	SBI (連結)		楽天(※1) (連結)		マネックスG(※2) (IFRS)		松井 (非連結)		auカブコム (非連結)	
	項目	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	前年度比 増減率	
営業収益	87,759	▲ 6.3	41,669	▲ 7.6	38,575	▲ 3.8	17,360	▲ 19.3	14,520	▲ 13.5
営業利益	27,515	▲ 35.8	7,963	▲ 48.5	3,051	+ 1.7	6,249	▲ 44.4	1,720	▲ 69.5
経常利益	27,837	▲ 35.0	7,185	▲ 51.9	3,064	▲ 4.9	6,370	▲ 44.0	1,811	▲ 68.2
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	17,910	▲ 39.0	4,389	▲ 56.8	2,252	▲ 16.5	4,400	▲ 44.2	1,358	▲ 65.9

出所:各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

※1 2018年度より12月決算に変更しており、上記は同社公表の2019年4月～2019年12月の連結業績の数値を記載

※2 営業利益は「営業利益相当額」、経常利益については「税引前四半期利益」を記載

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

<決算概況>

四半期毎の業績推移

(単位:百万円、%)

項目	2019年3月期				2020年3月期			前四半期比 増減率
	第1四半期 (18年4~6月)	第2四半期 (18年7~9月)	第3四半期 (18年10~12月)	第4四半期 (19年1~3月)	第1四半期 (19年4~6月)	第2四半期 (19年7~9月)	第3四半期 (19年10~12月)	
営業収益	30,544	29,849	33,264	28,878	27,464	30,400	29,894	▲ 1.7
純営業収益	28,908	27,827	31,106	26,559	25,032	26,939	27,060	+ 0.4
営業利益	14,420	13,522	14,904	12,502	9,266	8,803	9,445	+ 7.3
経常利益	14,388	13,497	14,959	12,559	9,351	8,939	9,546	+ 6.8
親会社株主に帰属 する 四半期純利益	9,926	9,297	10,120	8,521	6,175	5,559	6,175	+ 11.1

<決算概況>

2020年3月期第3四半期累計決算のポイント

1. 委託手数料収入・・・前年同期比11.4%減の20,963百万円

- ▶委託売買代金は前年同期比19.8%減の61兆7,377億円(うち、信用取引は41兆8,039億円)。手数料率は前年同期比0.3ポイント増の3.17ベース。
- ▶個人委託売買代金における当期の当社シェアは35.2%。

2. 金融収益・・・前年同期比18.0%減の27,305百万円

- ▶金融収支は前年同期比25.6%減の21,603百万円。

3. 引受・募集・売出手数料・・・前年同期比56.0%減の3,458百万円

- ▶投資信託残高は四半期末で2兆1,165億円。
- ▶2019年4月から12月までの新規上場社数65社のうち当社引受社数は62社。(引受関与率95.4%)

4. トレーディング損益・その他収入・・・前年同期比24.9%増の36,031百万円

- ▶トレーディング損益は前年同期比15.1%増の22,500百万円。

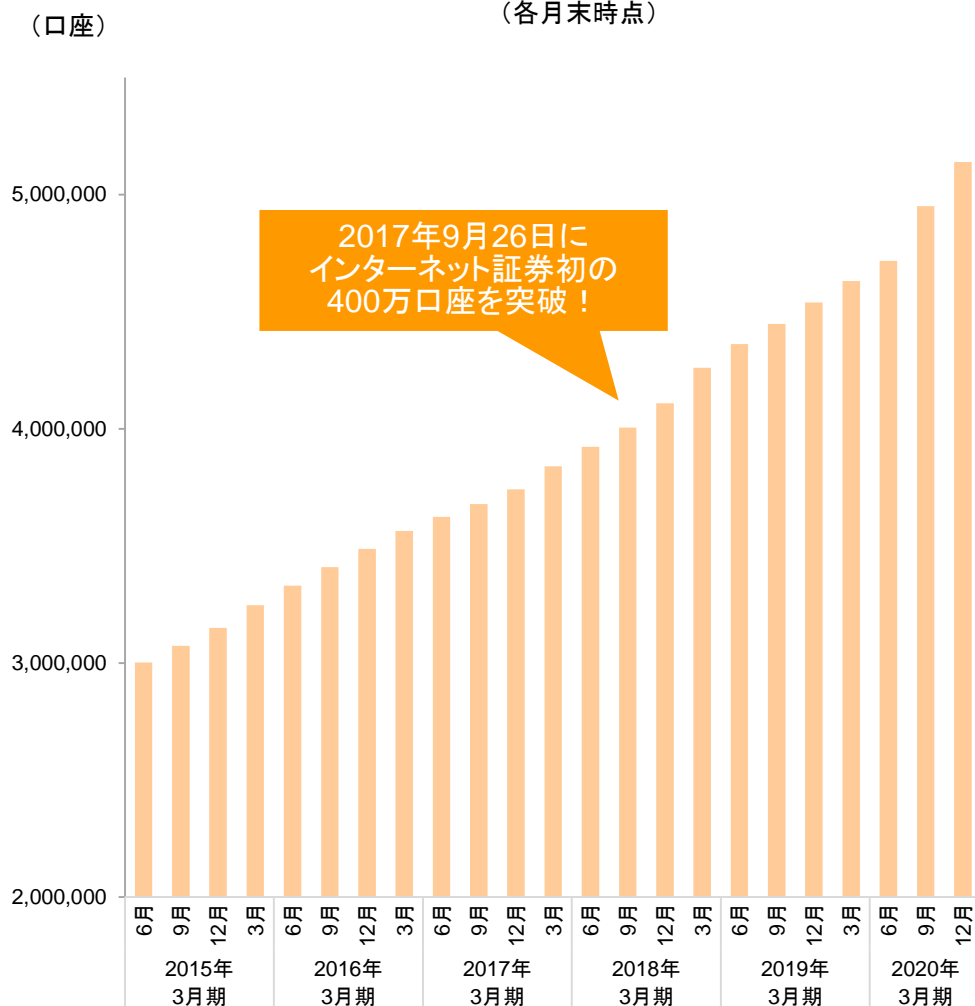
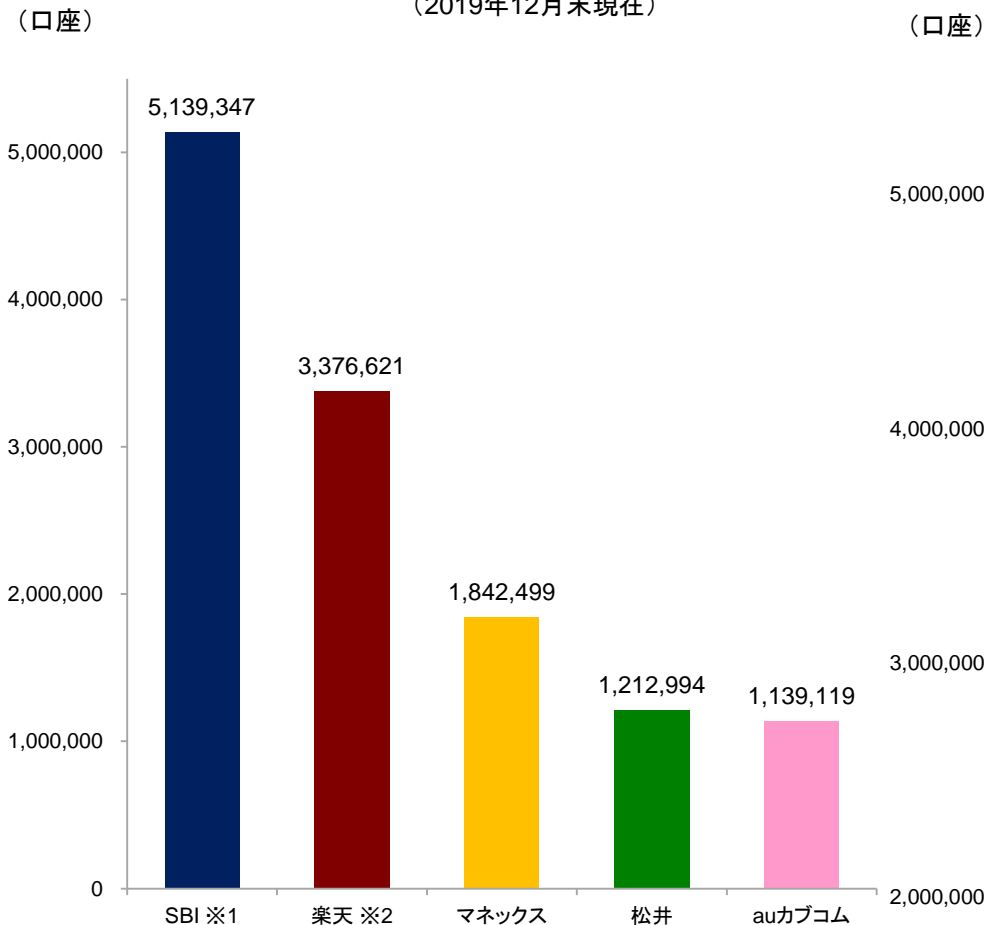
5. 販売費・一般管理費・・・前年同期比14.5%増の51,517百万円

<決算概況>

主要インターネット証券の口座数比較

<主要インターネット証券5社の口座数> ※1
(2019年12月末現在)

<口座数推移> ※1
(各月末時点)



※1 SBIの口座数には、2019年6月末以降SBIネオモバイル証券の口座数を含む

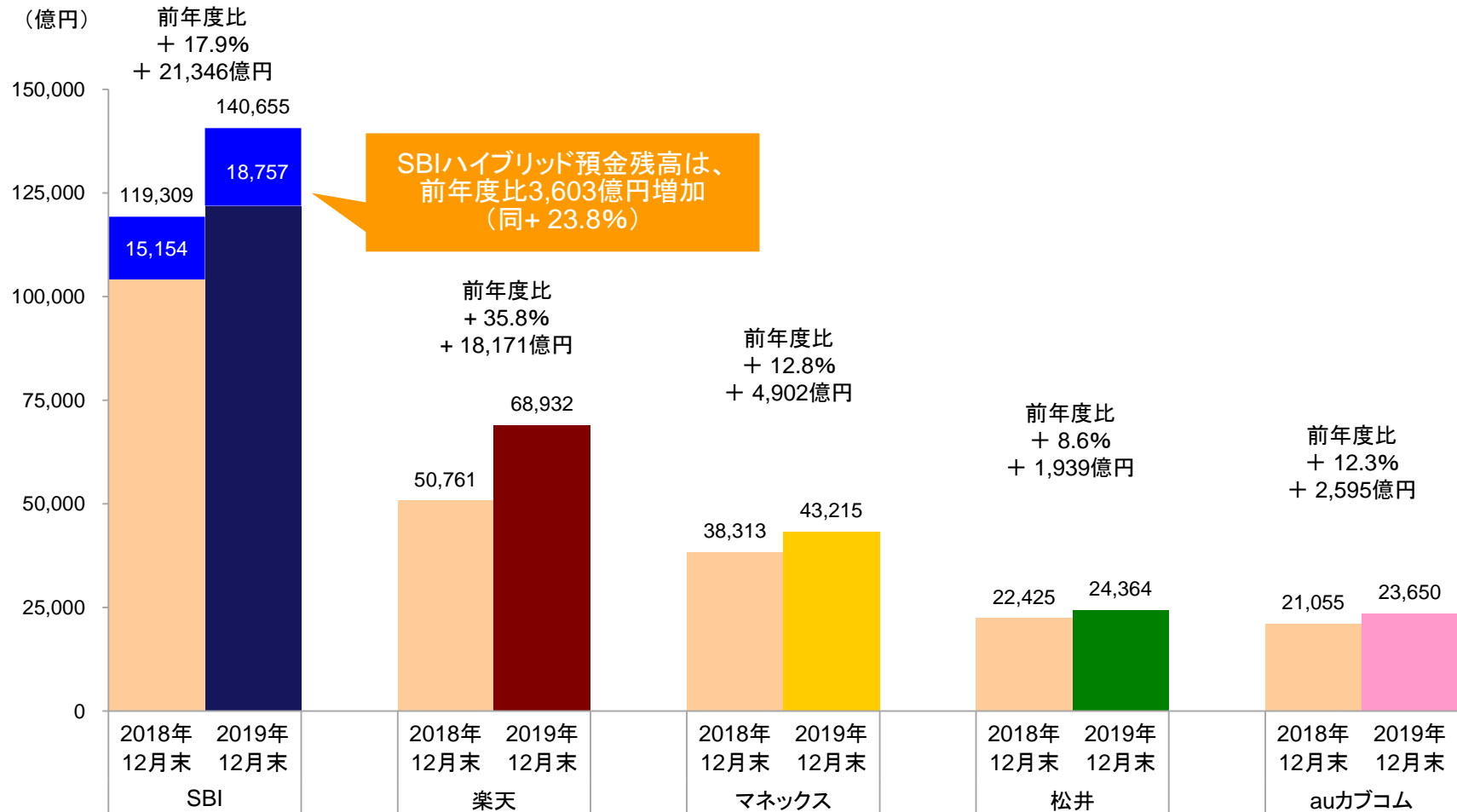
※2 楽天証券の数値は、2019年6月末の数値

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

<決算概況>

主要インターネット証券の預り資産残高比較

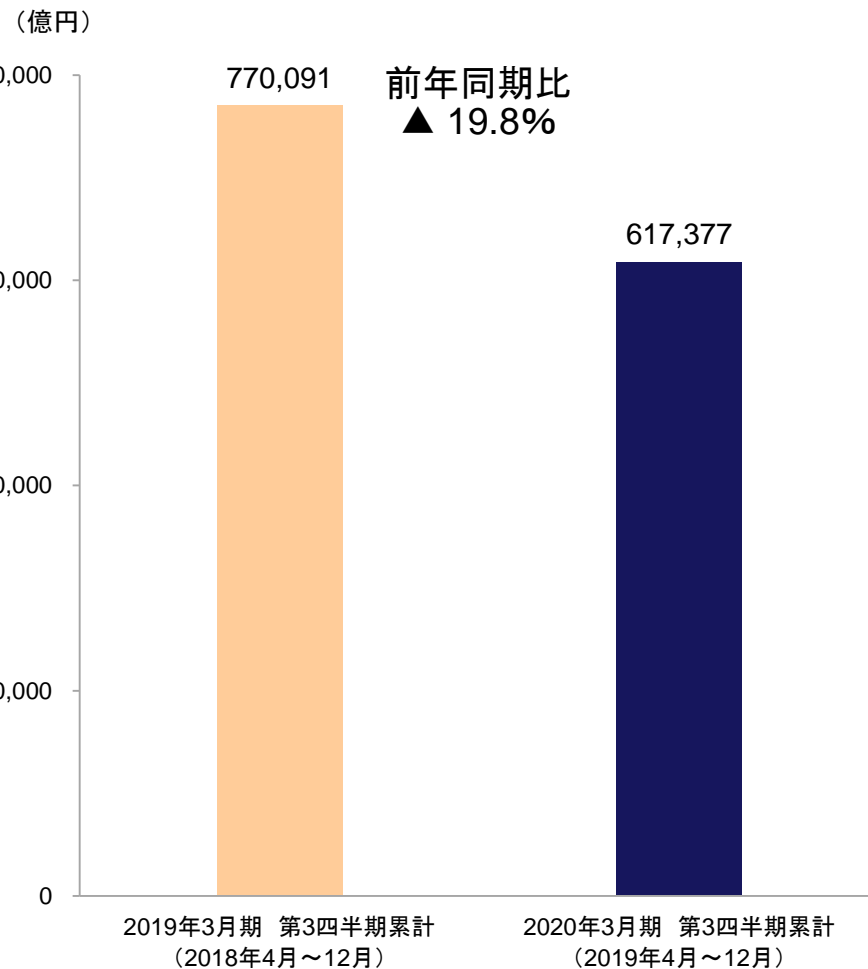
SBIハイブリッド預金残高を含めると、当社の2019年12月末預り資産残高は前年度比17.9%増の約14.0兆円。



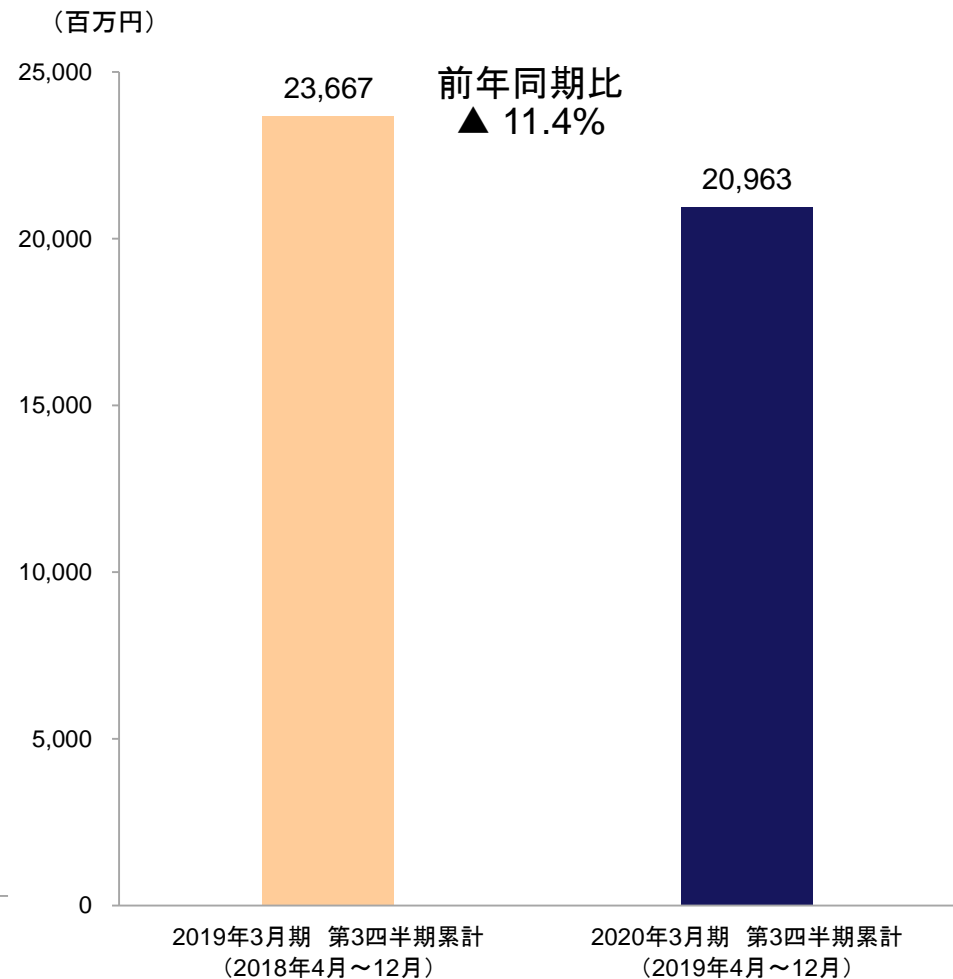
<決算概況>

国内株式 委託売買代金と委託手数料の動向

<委託売買代金>



<委託手数料>

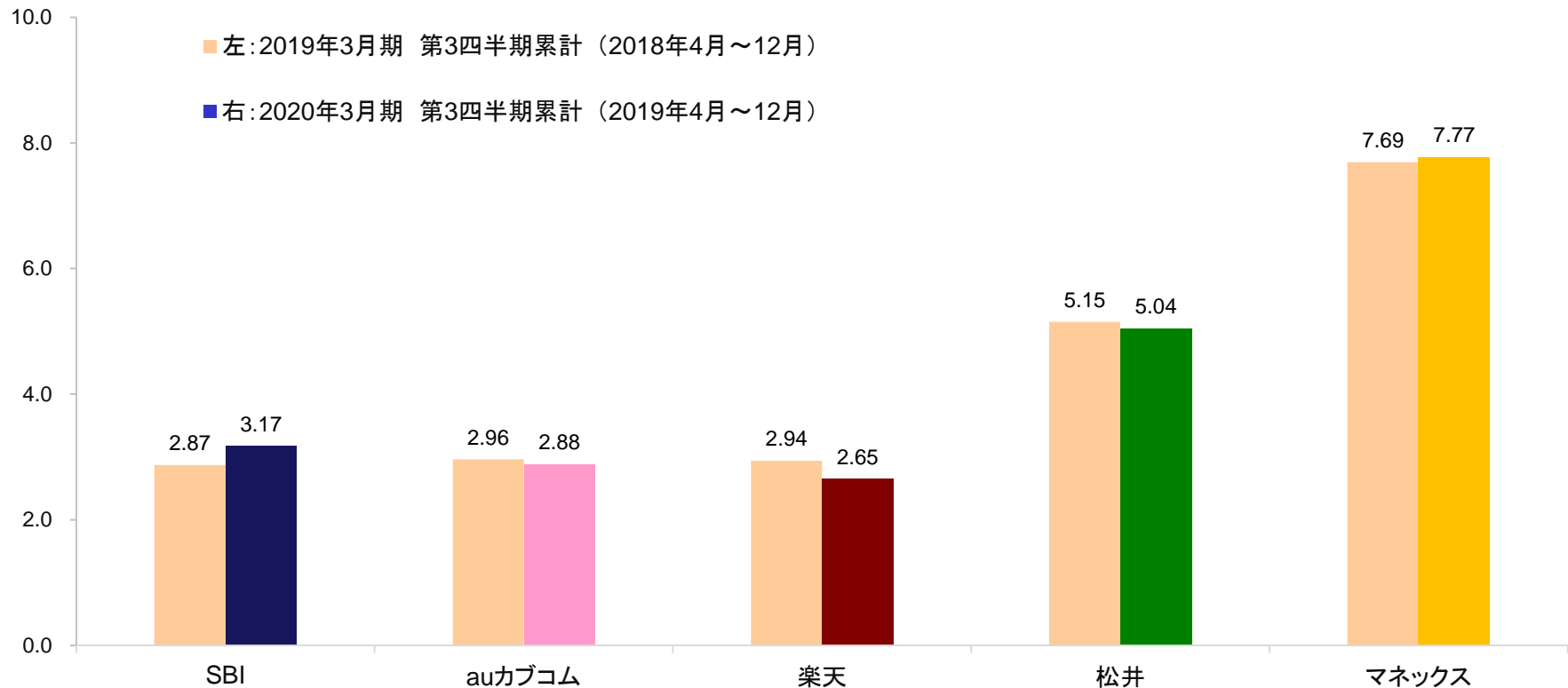


<決算概況>

主要インターネット証券のベースス比較

(ベースス)

(委託手数料÷委託売買代金)



主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、auカブコム証券、マネックス証券、松井証券
 ※ マネックスの数値は、マネックス証券の委託手数料の数値を使用

出所: 各社決算資料、月次開示資料等より当社作成
 委託手数料は決算短信より数値を使用
 SBI証券はインターネット部門のみの数値を使用 9

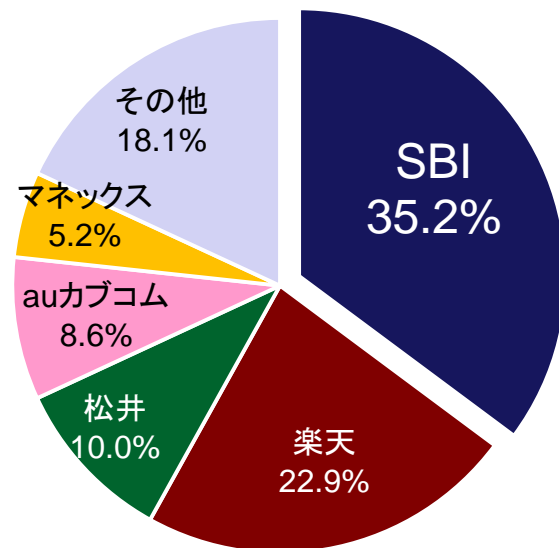
<決算概況>

主要インターネット証券の国内株式 委託個人売買代金シェア

当社は引続き他社を大きく上回る高いシェアを維持し、35.2%のシェアを獲得。

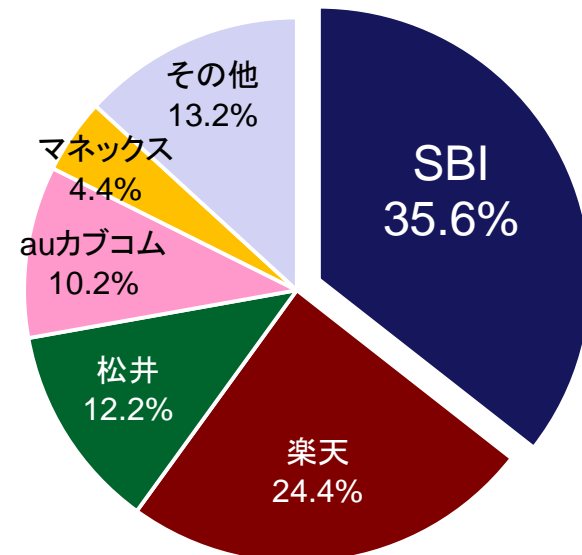
<委託個人売買代金シェア(%)>

2020年3月期 第3四半期累計 (2019年4月～12月)



<委託個人信用取引売買代金シェア(%)>

2020年3月期 第3四半期累計 (2019年4月～12月)

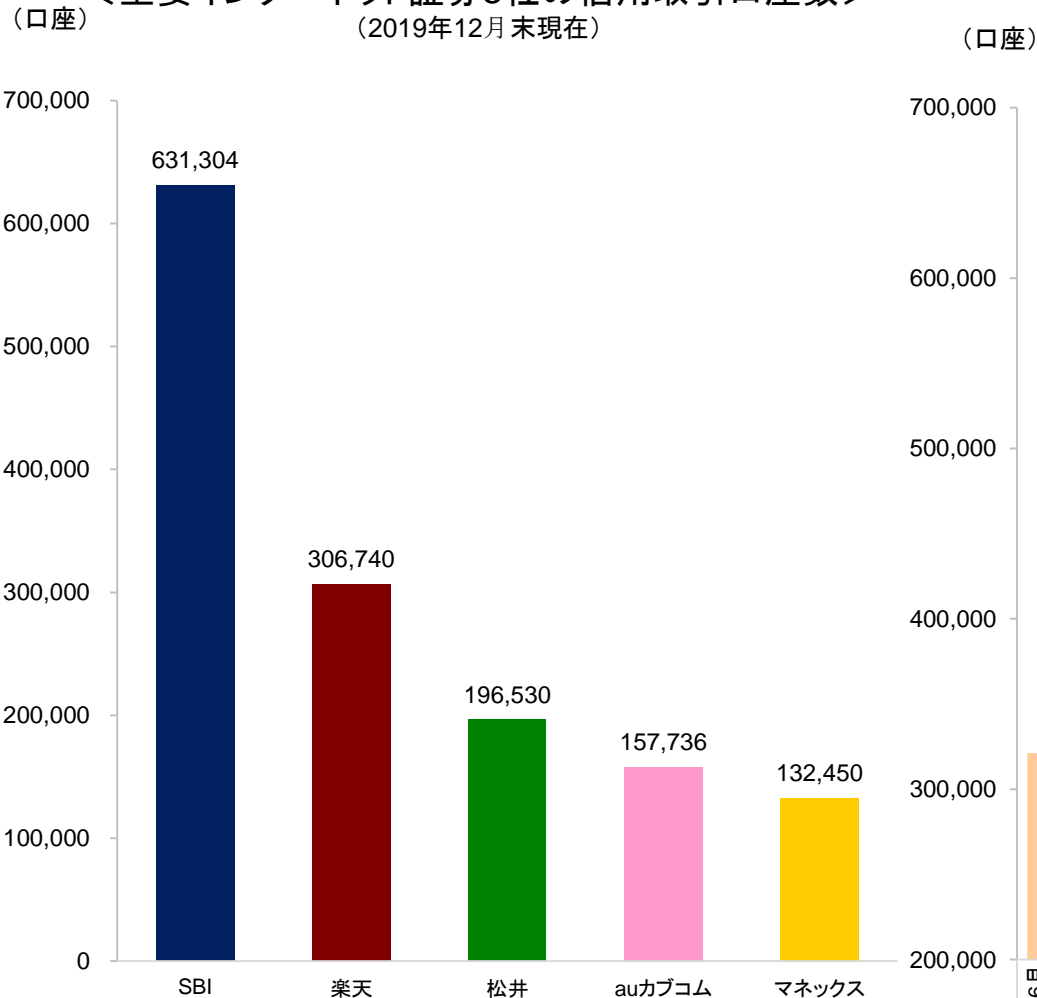


各社委託個人(信用)売買代金 ÷ {株式委託個人(信用)売買代金(二市場1,2部等) + ETF/REIT売買代金} にて算出
出所: 東証統計資料、各社WEBサイトの公表資料より当社集計

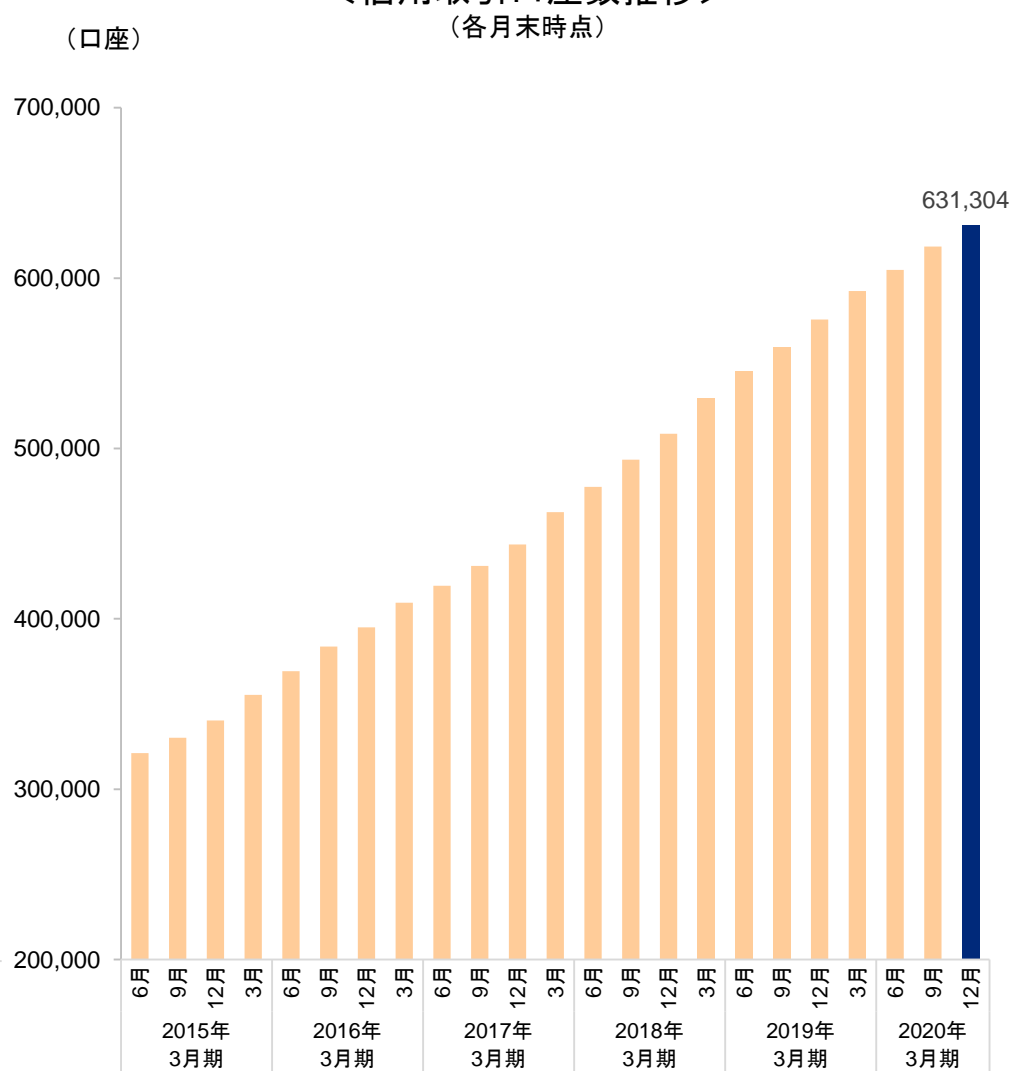
<決算概況>

主要インターネット証券の信用取引口座数比較

<主要インターネット証券5社の信用取引口座数>



<信用取引口座数推移>



※ 楽天証券の数値は、2019年6月末の数値
 主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

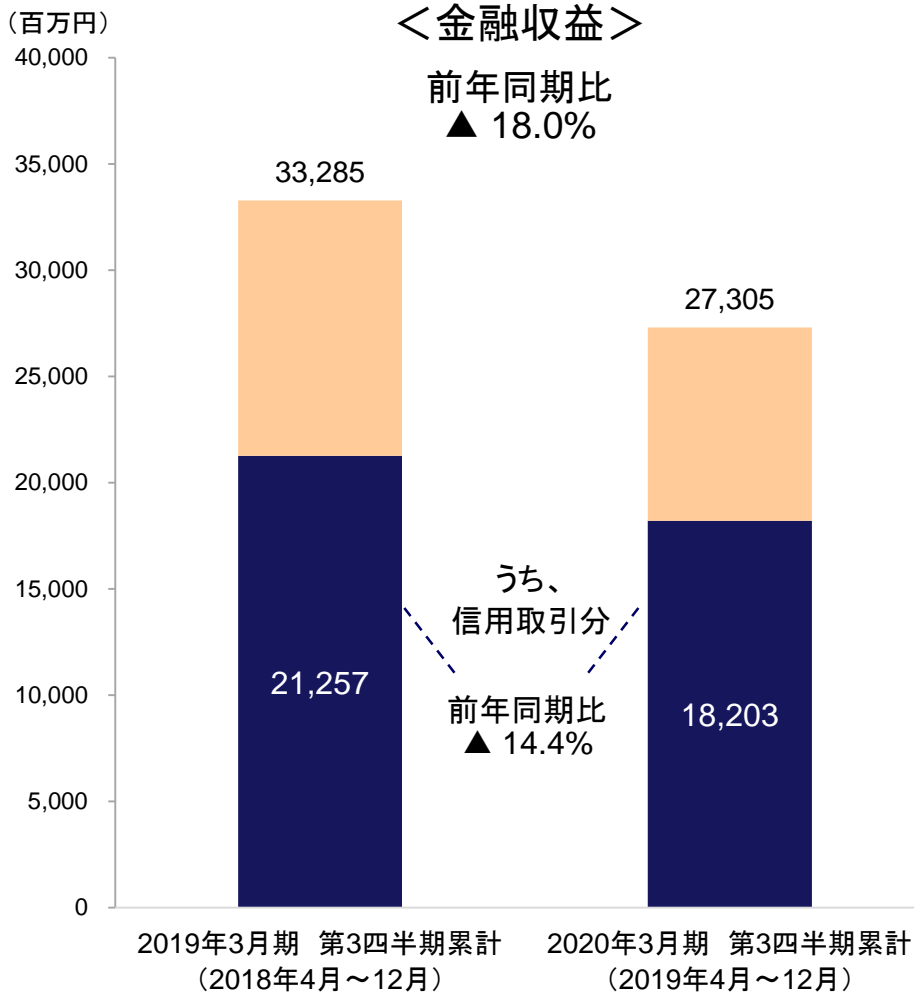
<決算概況>

金融収益と信用取引建玉残高の推移

<金融収益>

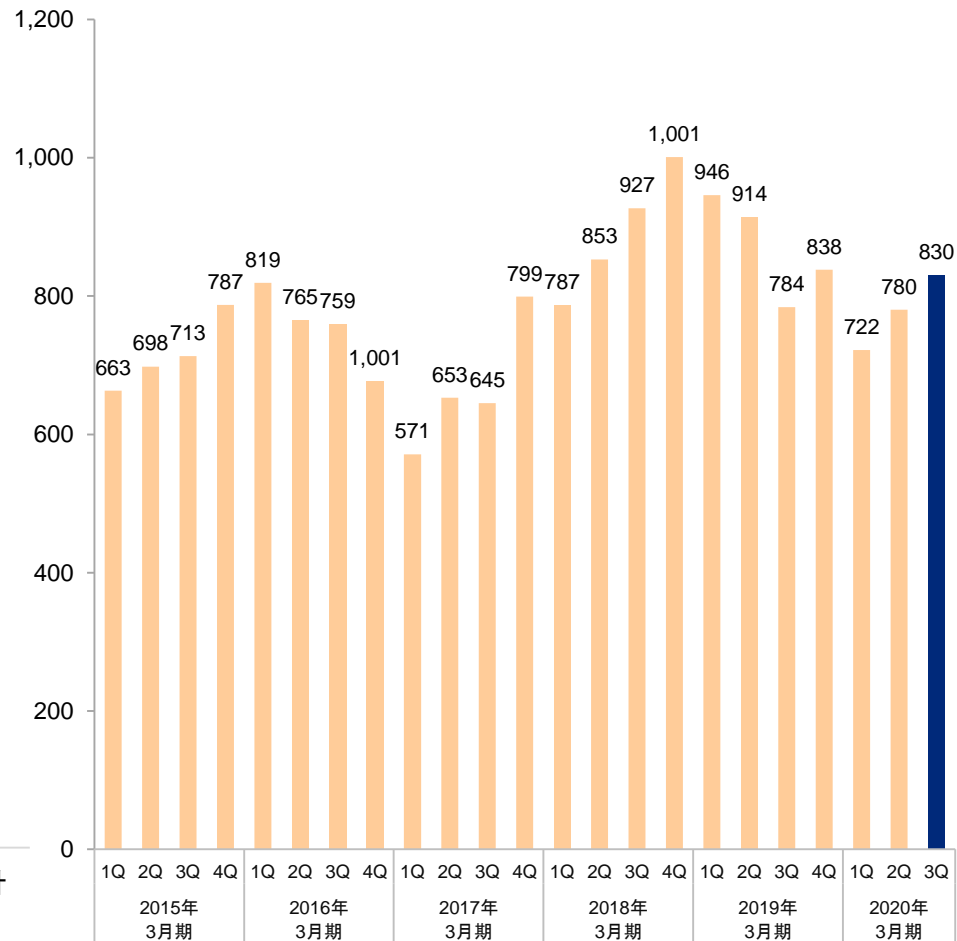
前年同期比
▲ 18.0%

うち、
信用取引分
前年同期比
▲ 14.4%



<信用取引建玉 月末残高の推移>

(十億円)

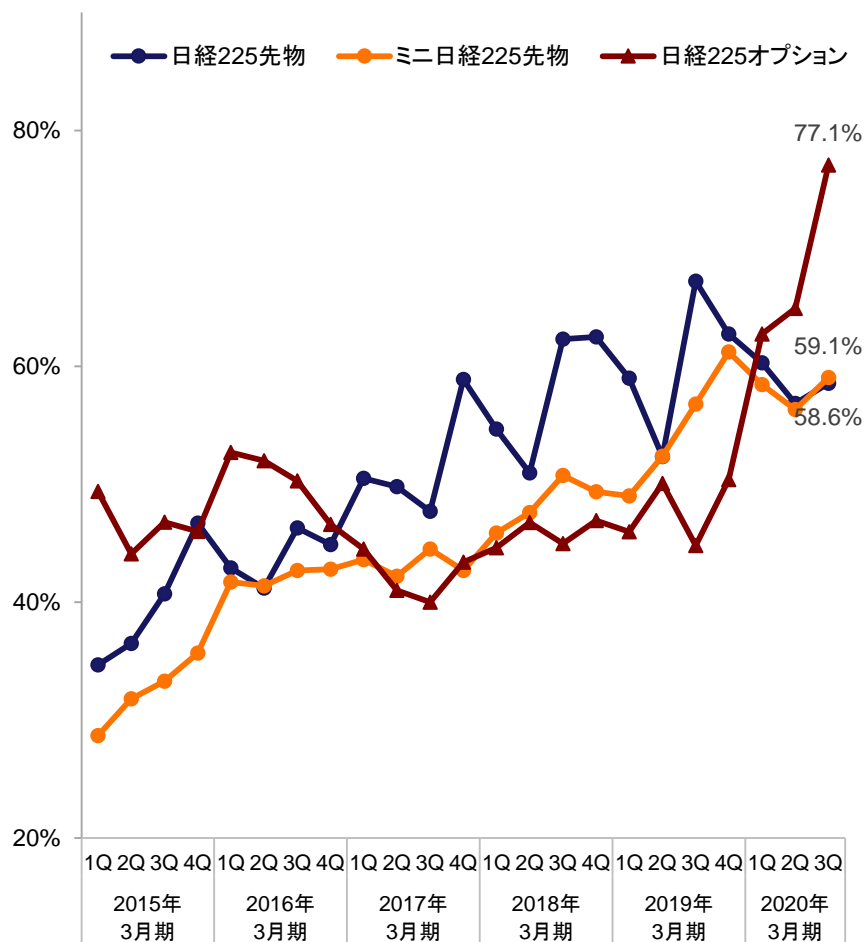


<決算概況>

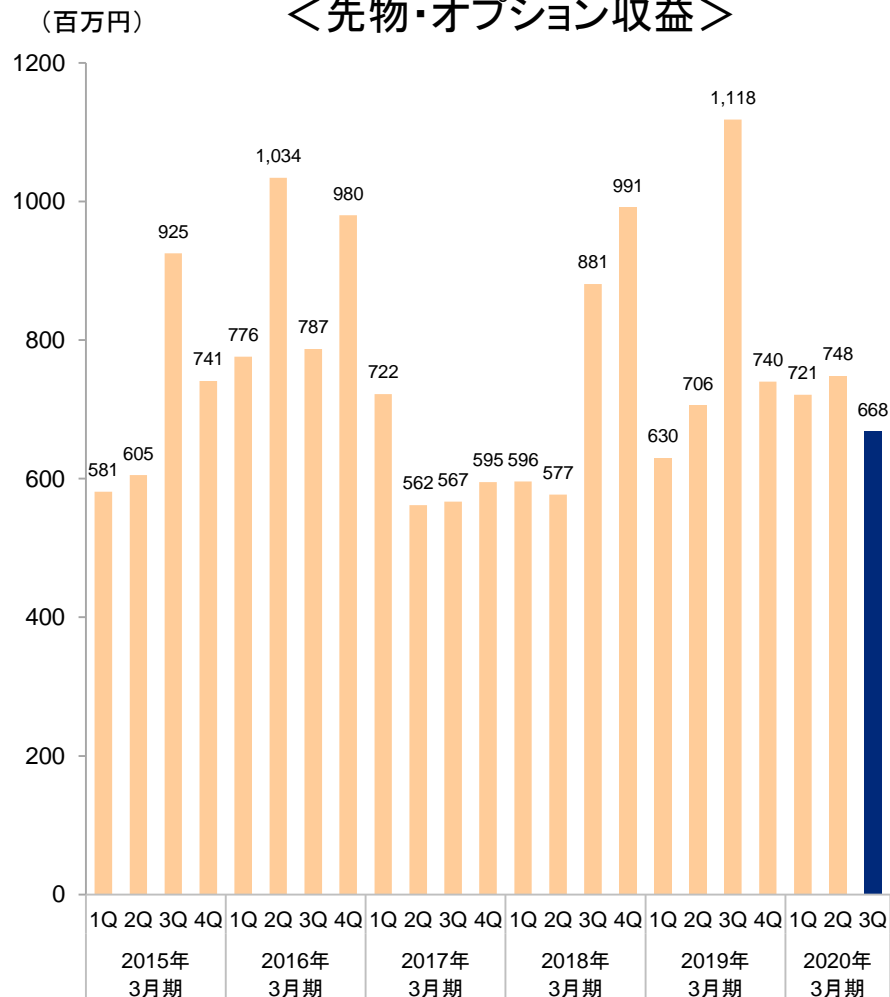
先物・オプション売買代金シェアと手数料の推移

先物・オプションの委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物・オプション 委託個人シェア>



<先物・オプション収益>



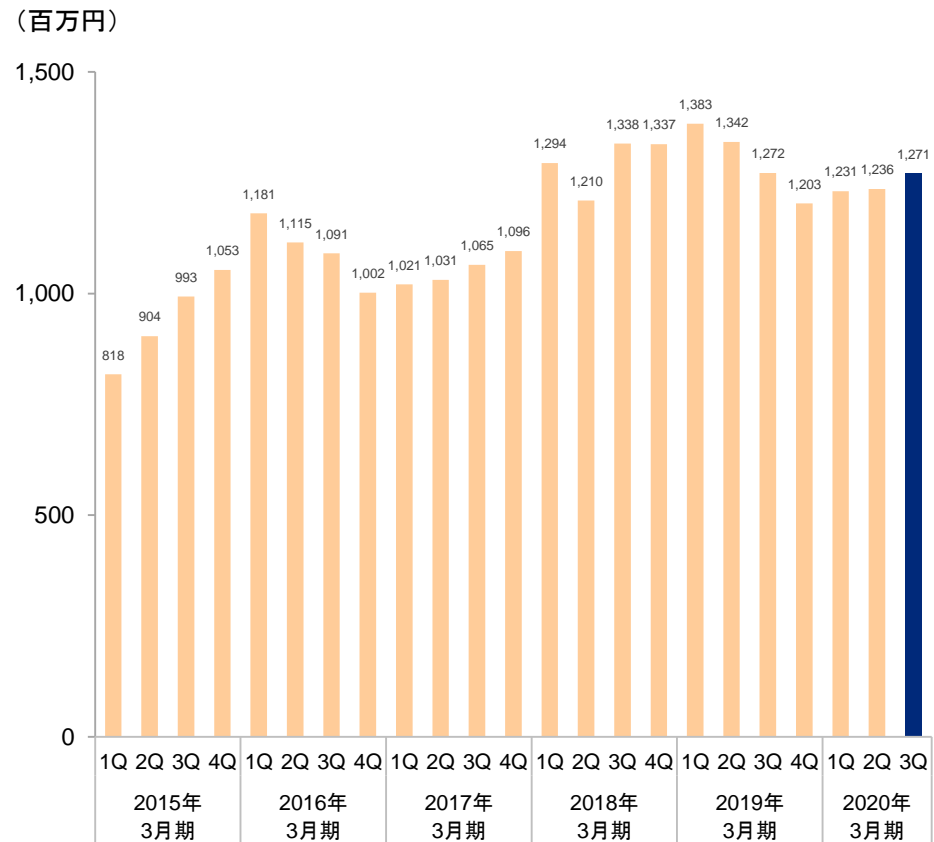
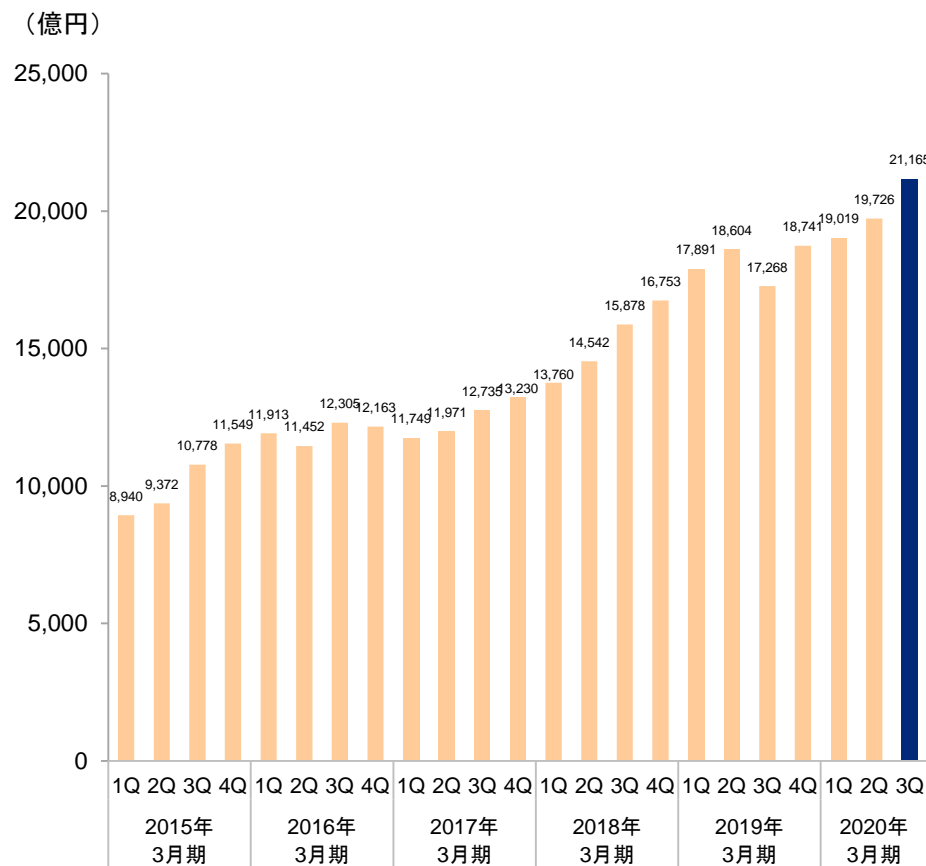
<決算概況>

投資信託残高と信託報酬の推移

投資信託残高の四半期末残高、信託報酬は高水準を維持。

<投資信託 四半期末残高>

<投資信託 信託報酬額>

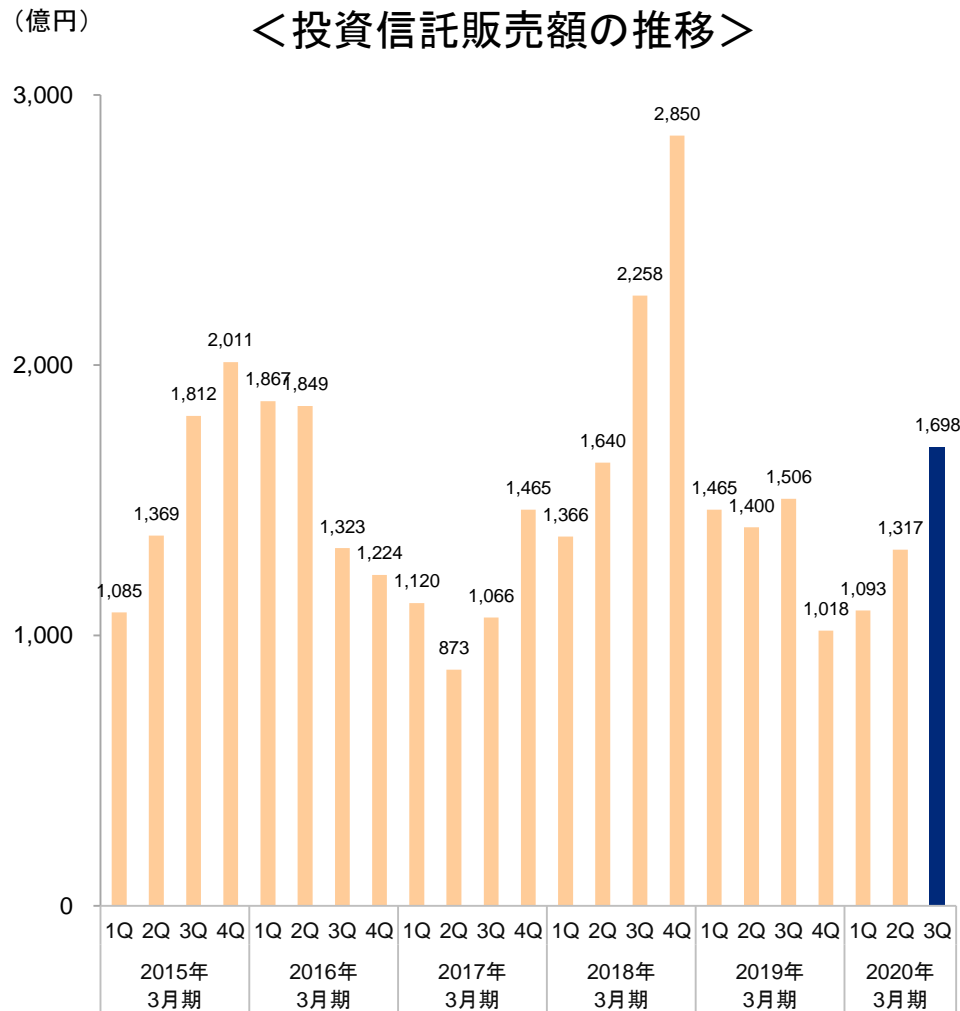


※上場投資信託、MMF、中期国債ファンドおよび対面口座分の預りを含む

<決算概況>

投資信託販売額の推移と取扱商品状況

<投資信託販売額の推移>



<売れ筋ファンド-買付金額上位銘柄>

No.	銘柄名
1	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
2	SBI・バンガード・S&P500 インデックス・ファンド
3	ニッセイ日経225インデックスファンド

※受渡ベース

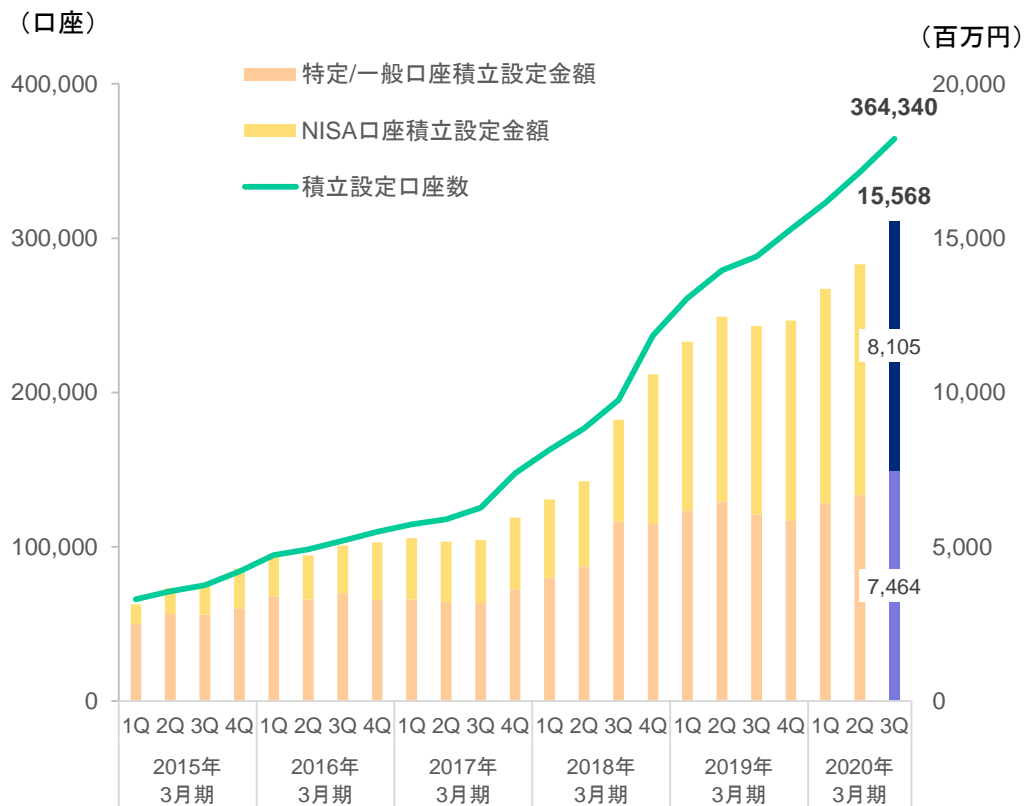
<取扱本数>

取扱本数は2019年12月30日現在:2,696本
 ※取扱本数は、主要インターネット証券No.1

<決算概況>

投資信託積立設定金額の推移と取扱商品状況

<投信積立金額の推移>



<売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄>

No.	銘柄名
1	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
2	ひふみプラス
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス

※受渡ベース

※MMFおよび中期国債ファンドを含む
 ※主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

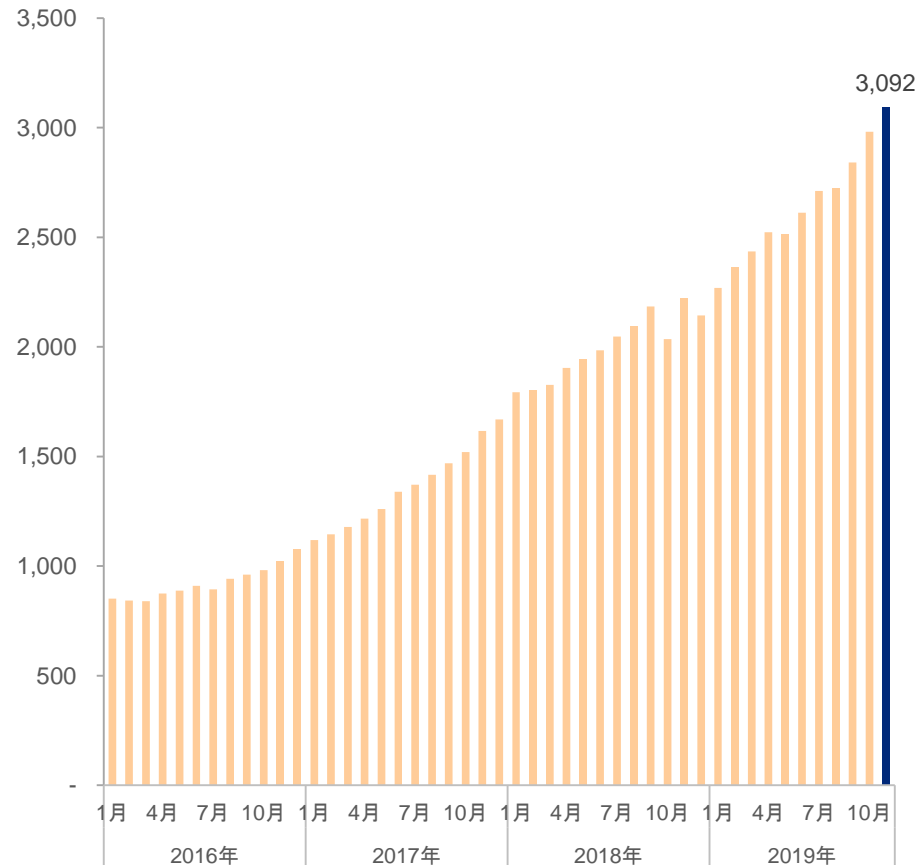
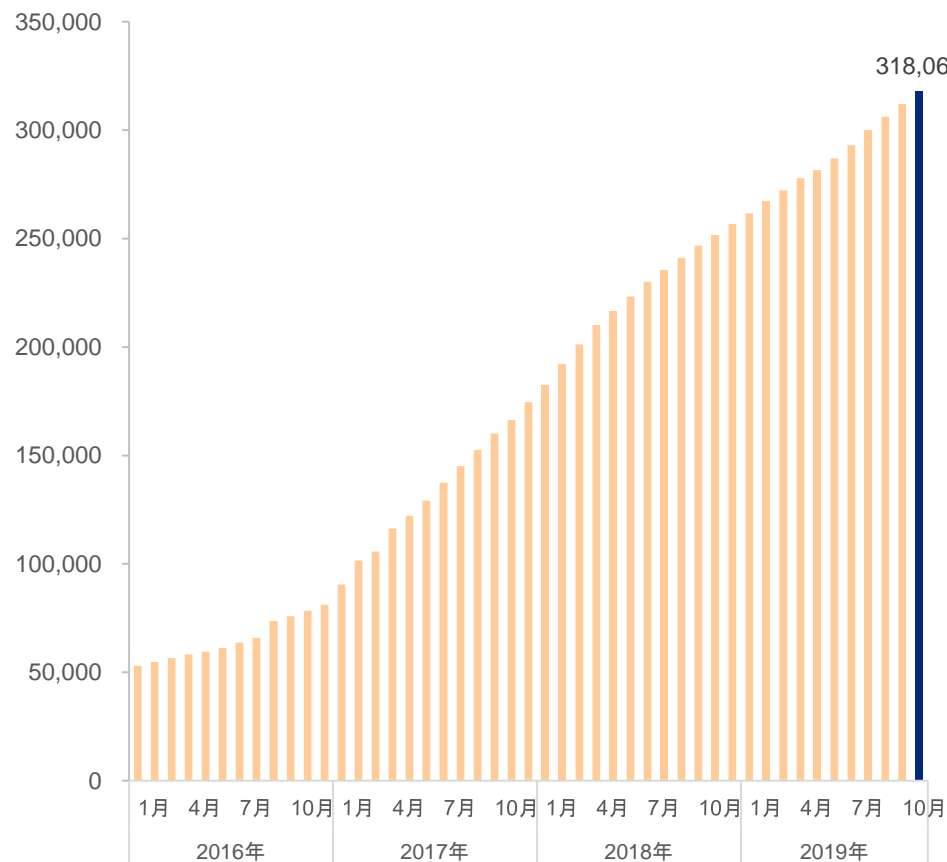
iDeCo口座数・残高の推移

<iDeCo口座数の推移>

<iDeCo残高の推移>

(口座)

(億円)

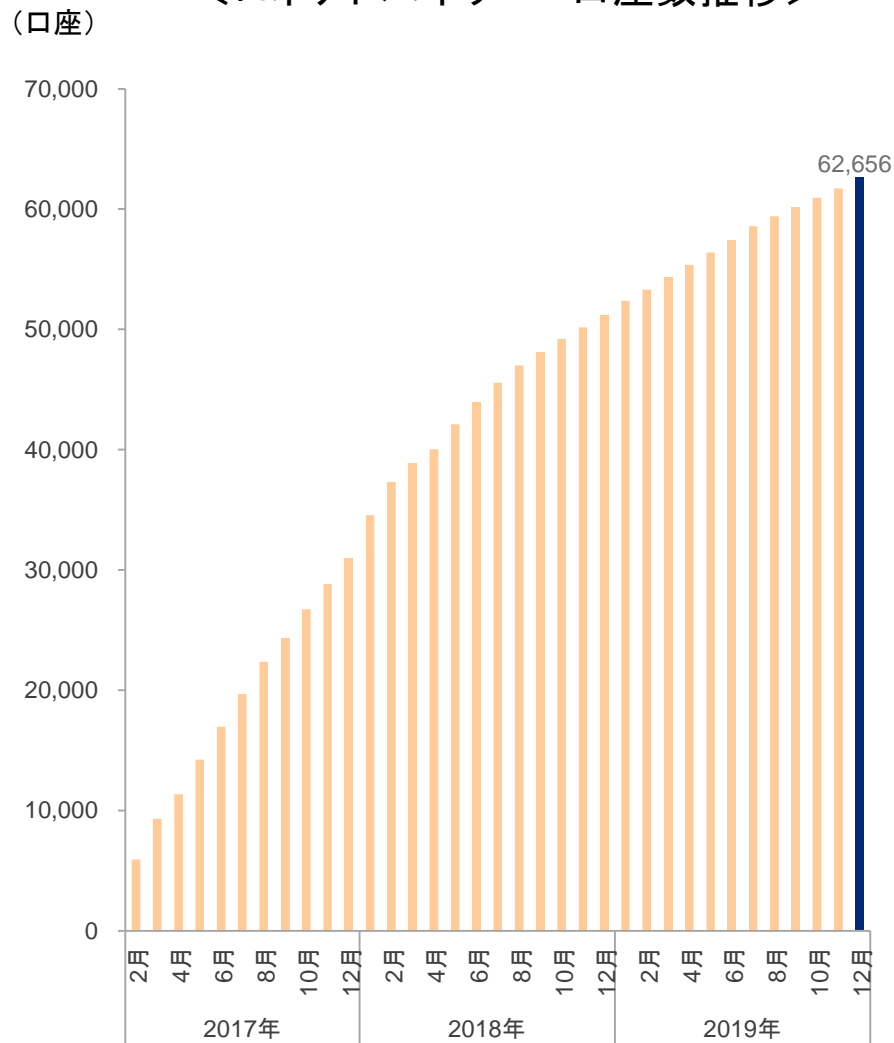


※加入者・運用指図者の合計
 ※出所: 国民年金基金連合会

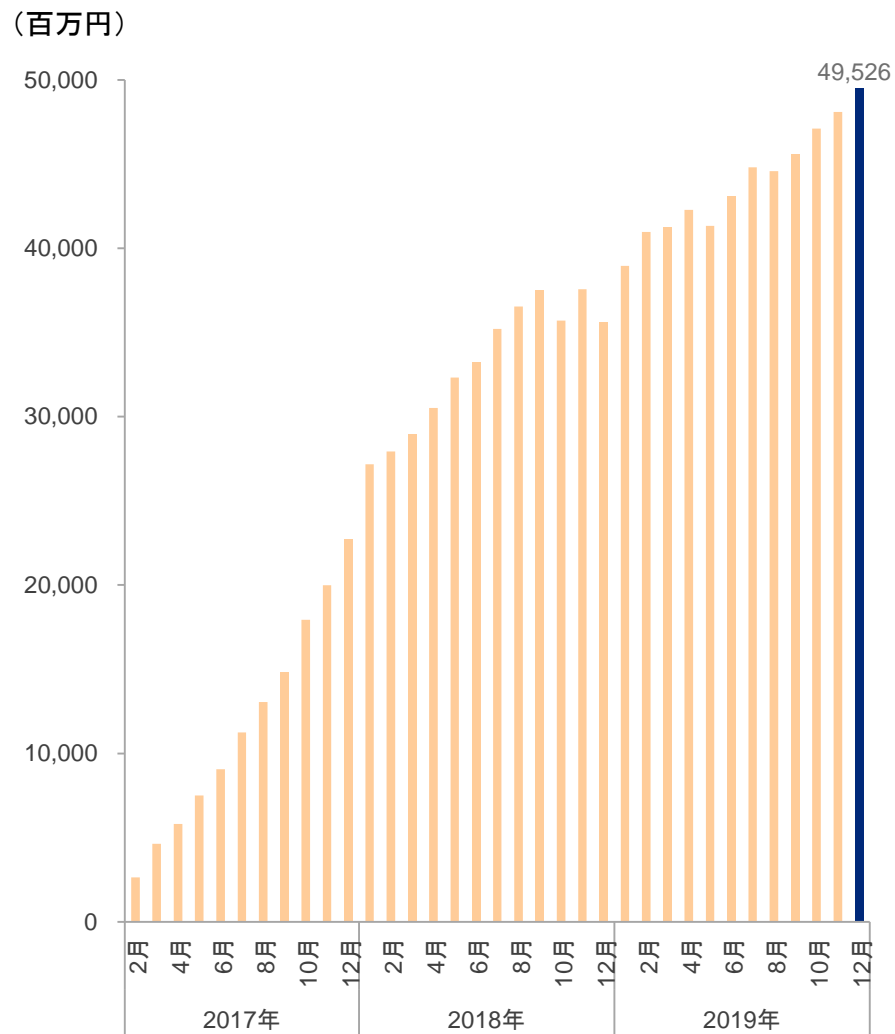
※残高は当社集計

ロボアドバイザー「WealthNavi for SBI証券」の状況

＜ロボアドバイザー 口座数推移＞



＜ロボアドバイザー 残高推移＞



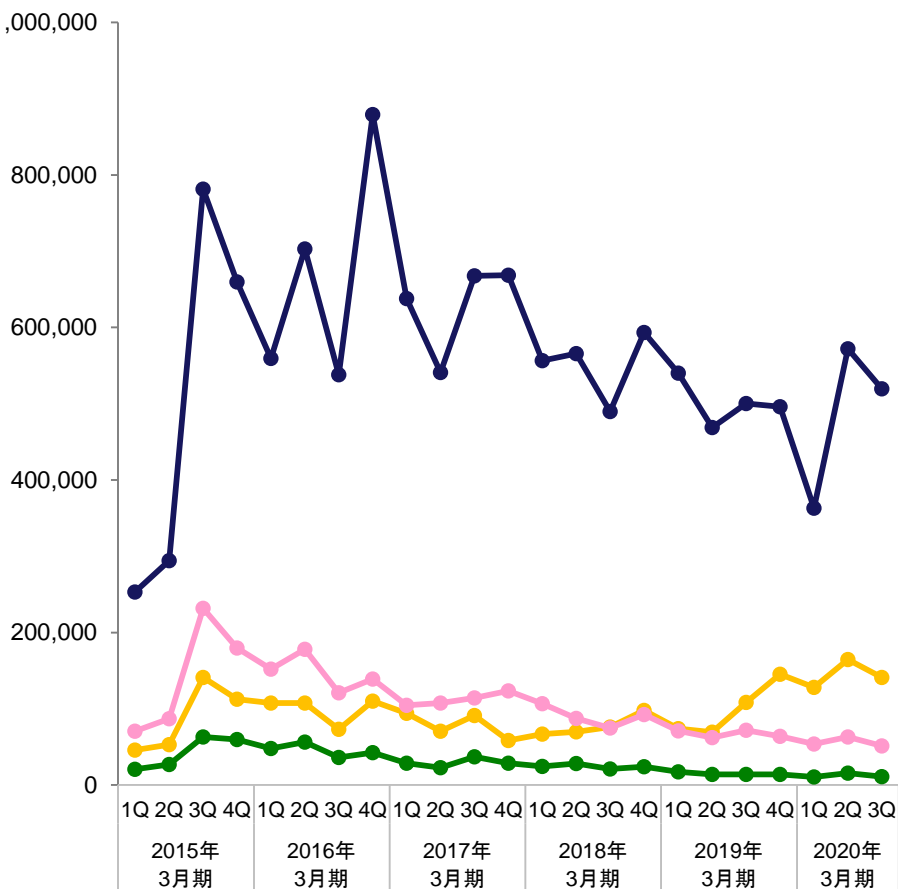
<決算概況>

FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>

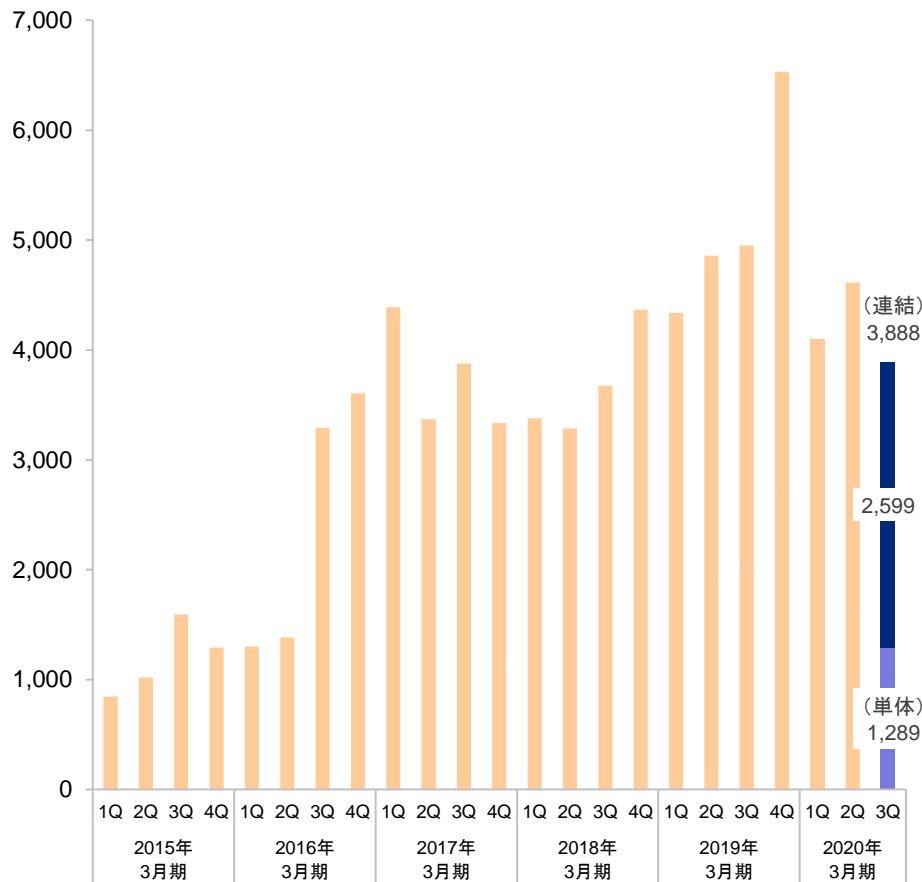
(億円)

● SBI(単体) ● 松井 ● マネックス ● auカブコム



(百万円)

<FX収益推移>



※ データを開示しているマネックス証券、松井証券、auカブコム証券およびSBI証券の4社の数値を比較

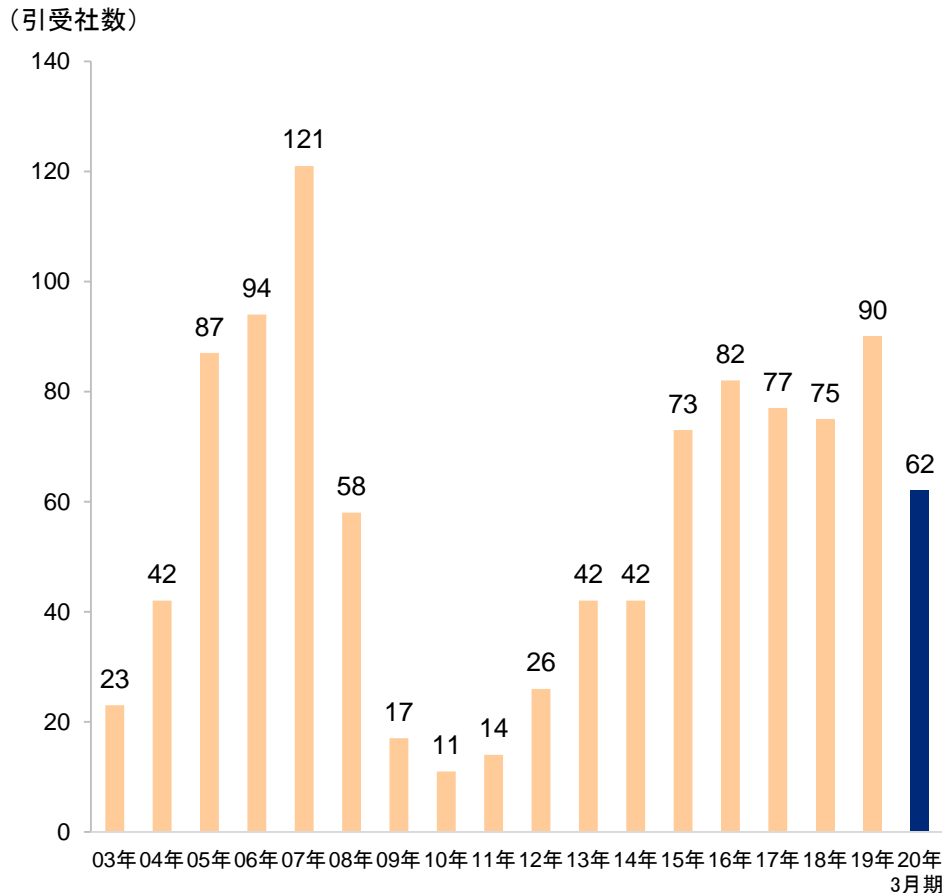
出所：各社ホームページ等公表資料より当社にて集計

<決算概況>

新規公開株式(IPO)の引受実績

2019年4月から12月までの上場会社数は65社。同期間のSBI証券引受関与率は95.4%と引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2019年4月~12月)>

社名	件数	関与率(%)
SBI	62	95.4%
SMBC日興	46	70.8%
みずほ	42	64.6%
大和	35	53.8%
マネックス	33	50.8%
岩井コスモ	30	46.2%
エース	30	46.2%
野村	26	40.0%
いちよし	23	35.4%
岡三	22	33.8%

※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず
 ※引受関与とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数
 ※各社発表資料より当社にて集計

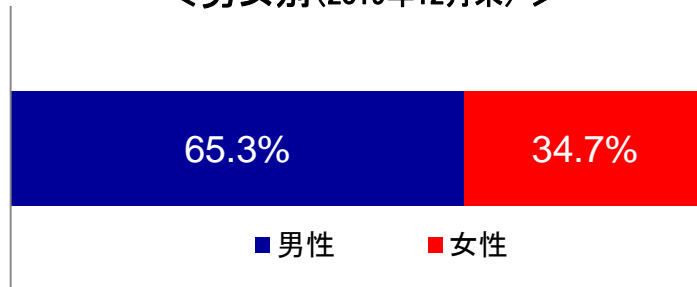
<決算概況> NISA口座の状況

<NISA口座数と稼働率(2019年12月末累計)>

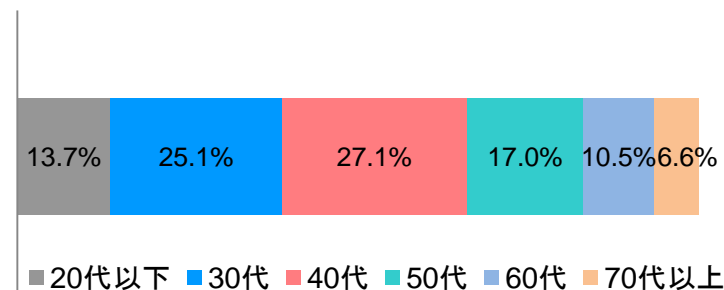
口座数	155.8万口座
稼働口座数	85.2万口座
稼働率	54.7%

※稼働口座数・稼働率は2019年1月以降累計

<男女別(2019年12月末)>

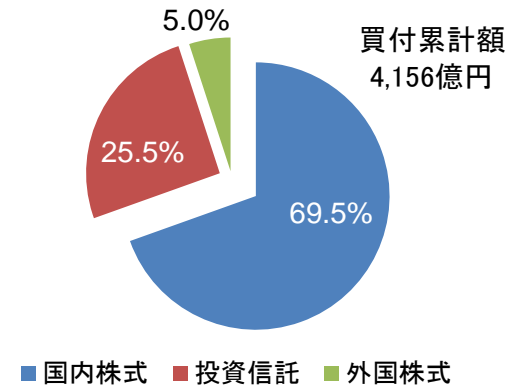


<年代別(2019年12月末)>



※上記数値はNISA、つみたてNISA、ジュニアNISA口座の合算

<買付商品の内訳(2019年1月~12月累計)>



<国内株式買付金額上位銘柄(2019年1月~12月累計)>

No	銘柄名(銘柄コード)
1	日本たばこ産業(2914)
2	オリックス(8591)
3	日産自動車(7201)
4	ソフトバンク(9434)
5	みずほフィナンシャルグループ(8411)
6	イオン(8267)
7	三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)
8	キヤノン(7751)
9	武田薬品工業(4502)
10	ソフトバンクグループ(9984)

＜決算概況＞

2020年3月期 第3四半期累計の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2019年 4～6月	<ul style="list-style-type: none"> • 「テーマキラー！」5万円コースの導入(4月) • 投資信託の積立専用のスマートフォン向け新アプリ「かんたん積立 アプリ」の提供を開始(4月) • iDeCo(個人型確定拠出年金)利用者サイトのスマートフォン対応を開始(5月) • SBI FXα(外国為替保証金取引)にて、ブラジルリアル/円、ロシアルーブル/円のスプレッドを縮小(5月) • 国内株式取引 一般信用取引(無期限)の買方金利を2.80%、貸株料を1.10%へ引き下げ(6月)
2019年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> • 新ポイントサービスとしてTポイントプログラムを導入(7月) • 米国株式の最低取引手数料を無料化(7月) • 米国株式の移管入庫時にかかる出庫手数料を当社で負担し実質0円とするキャンペーンを実施(7月) • 株式会社清水銀行との入金サービス「清水銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(7月) • HDI-Japan「問合せ窓口格付け」及び「Webサポート格付け」における「三つ星」を獲得(8月) • 日経225先物、ミニ日経225先物手数料の引き下げを実施(8月) • 株式会社愛媛銀行との入金サービス「愛媛銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月) • 株式会社東和銀行との入金サービス「東和銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月) • SBIジャパンネクスト証券株式会社の運営する「ジャパンネクストPTS」で信用取引を開始(8月) • バンガードとの共同ブランドファンド「SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド」を募集開始(9月) • 株式会社秋田銀行と市場誘導業務に関する業務提携を開始(9月) • 「コンタクトセンター・アワード2019」において「オペレーション部門賞」を受賞(9月) • iDeCo(個人型確定拠出年金)の口座数が30万口座を突破(9月) • 株式会社島根銀行とM&A業務に関する提携を開始(9月)

<決算概況>

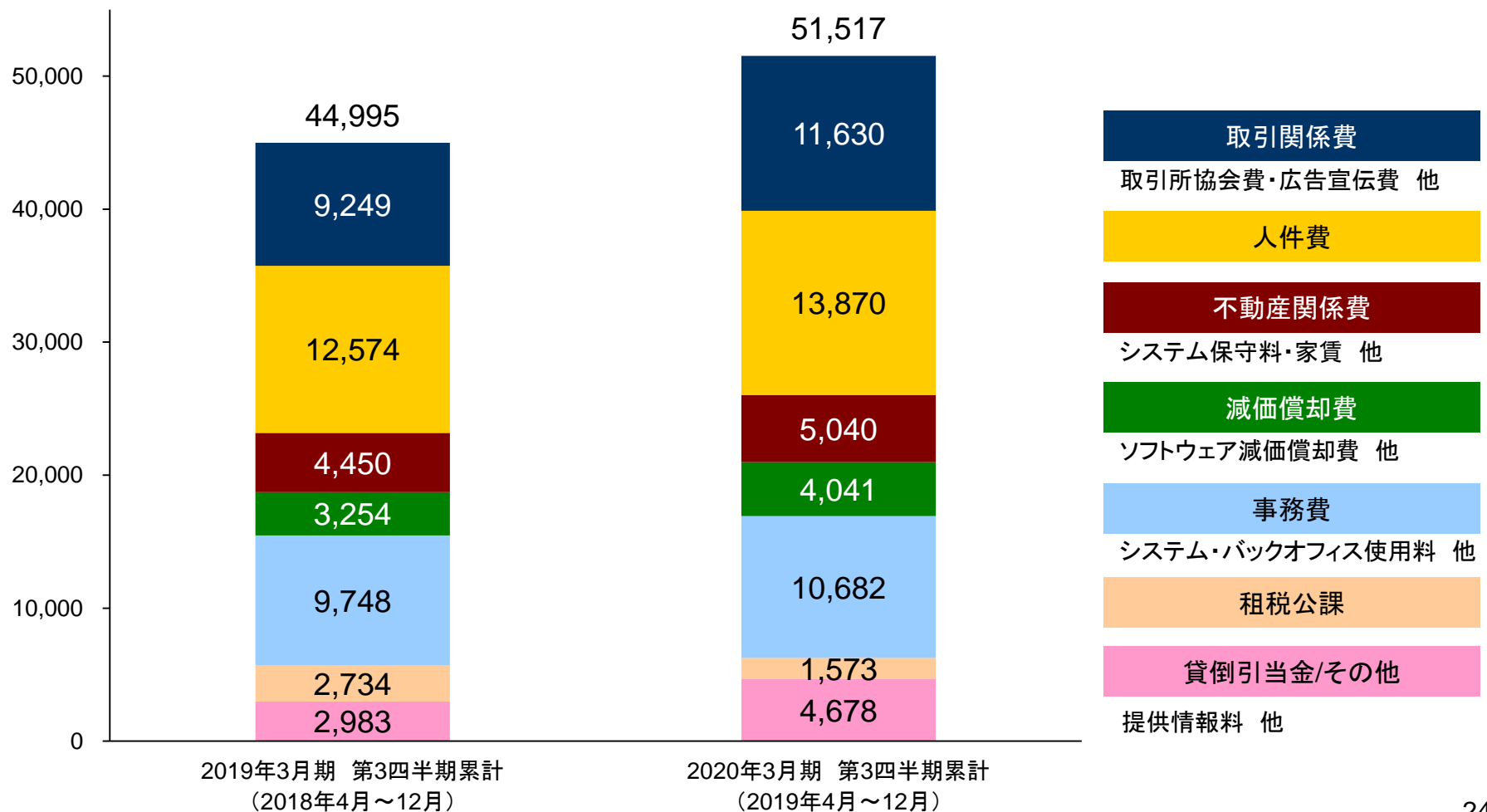
2020年3月期 第3四半期累計の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2019年 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> • SBI FXα(外国為替保証金取引)にて、11通貨ペア(米ドル/円、ユーロ/円、ポンド/円、豪ドル/円、NZドル/円、南アランド/円、トルコリラ/円、カナダドル/円、メキシコペソ/円、ポンド/米ドル、豪ドル/米ドル)の基準スプレッドを縮小(10月) • 証券会社5社と共同で日本STO協会を設立(10月) • 子会社SBI Securities (Singapore) Pte. Ltd.が証券免許を取得(10月) • 米国株式取引にて、「逆指値注文(指値/成行)」を追加し、期間指定注文最大日を15現地営業日先から90現地営業日先まで延長(10月) • iDeCo(個人型確定拠出年金)専用ダイヤルの営業日を日曜日にも拡大(10月) • 米ドル/円の基準スプレッドを0.3銭から0.2銭へ縮小(11月) • 株式会社四国銀行との入金サービス「四国銀行リアルタイム入金」の提供を開始(11月) • 投資信託の積立設定金額が150億円を突破(11月) • 「ふるさとチョイス」との連携を開始(11月) • 「第23回企業電話対応コンテスト」において「理事長賞」を受賞、「ゴールドランク企業」として認定(11月) • 「MINKABU PRESSニュース」の配信を開始(11月) • 資金移動業の登録完了(12月) • 全ての投資信託の販売手数料、ETF・REIT等の信用取引の取引手数料及び夜間PTS取引の手数料を無料化(12月) • 現物・信用取引ともに、株式委託手数料(アクティブプラン)の1日の約定代金合計額「10万円まで無料」を「50万円まで無料」へ拡大(12月)

<決算概況>

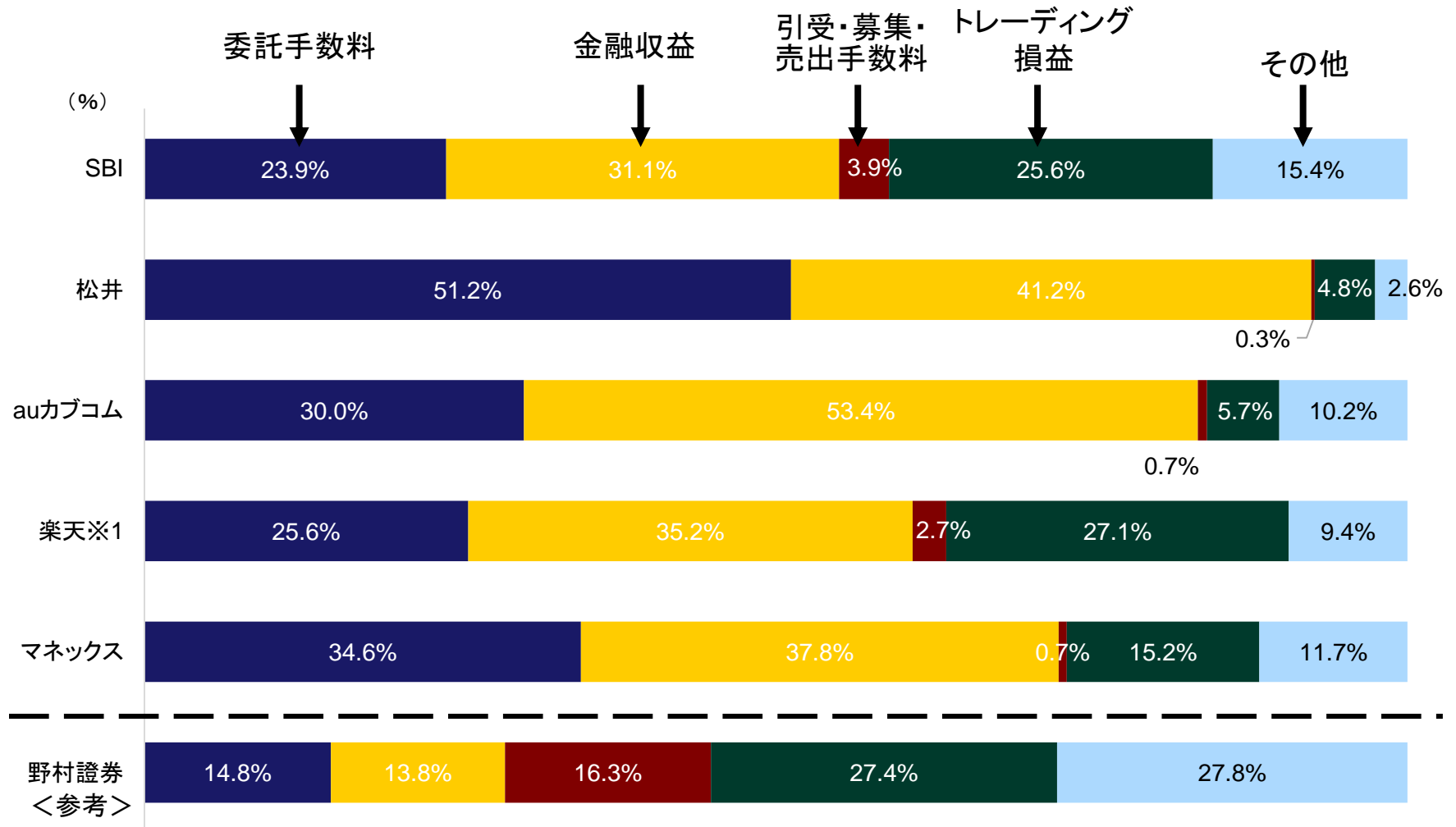
販売費・一般管理費の内訳

(百万円)



<決算概況>

主要インターネット証券各社 2020年3月期 第3四半期累計営業収益構成比



出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

※1 楽天証券の数値は、2018年度より12月決算に変更しており、上記は2019年12月期 第2四半期と第3四半期、第4四半期の合計値を記載

＜手数料等及びリスク情報について＞

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

＜金融商品取引法に係る表示＞

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会